



2016年度第3四半期業績および 通期業績見通しについて

三菱自動車工業株式会社

2017年1月31日

2016年度 第3四半期 実績



『アウトランダーPHEV』

2016年度 第3四半期累計 業績サマリー 【前年同期対比】

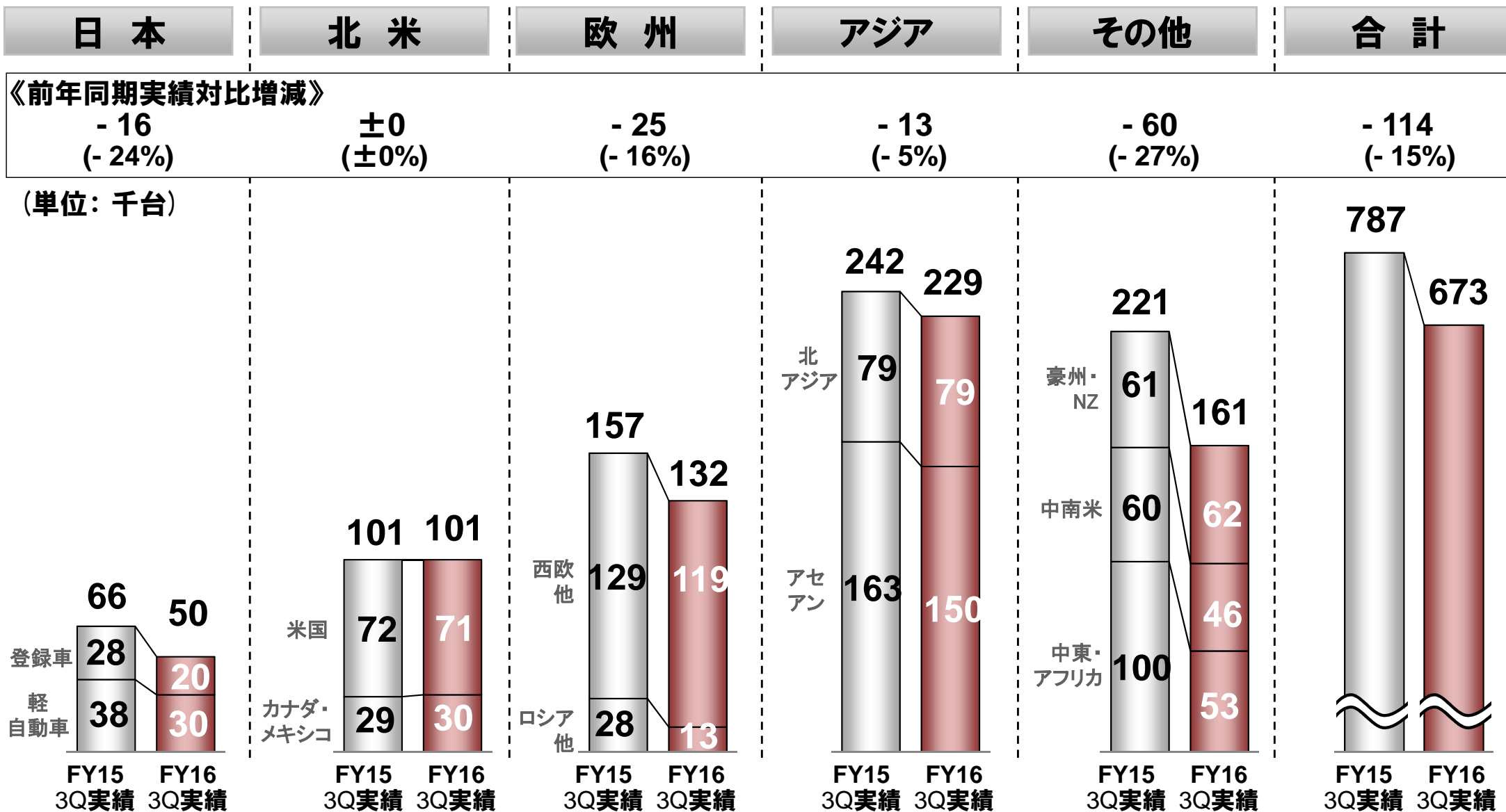


(単位: 億円、千台)

	FY15 1-3Q ('15/4-12) 実績	FY16 1-3Q ('16/4-12) 実績	増減	FY15 3Q ('15/10-12) 実績	FY16 3Q ('16/10-12) 実績	増減
売上高	16,620	13,418	-3,202	5,922	4,769	-1,153
営業利益 (利益率)	1,020 (6.1%)	-232 (-1.7%)	-1,252	436 (7.4%)	84 (1.8%)	-352
経常利益 (利益率)	1,067 (6.4%)	-222 (-1.7%)	-1,289	482 (8.1%)	60 (1.3%)	-422
四半期純利益* (利益率)	767 (4.6%)	-2,133 (-15.9%)	-2,900	246 (4.2%)	63 (1.3%)	-183
販売台数 (小売台数)	787	673	-114	266	237	-29

*親会社株主に帰属する四半期純利益

2016年度 第3四半期 小売台数実績 【9ヶ月累計、前年同期対比】



※注) 16年度第3四半期小売台数実績は速報値。

2016年度 第3四半期累計 営業利益増減分析【前年同期対比】

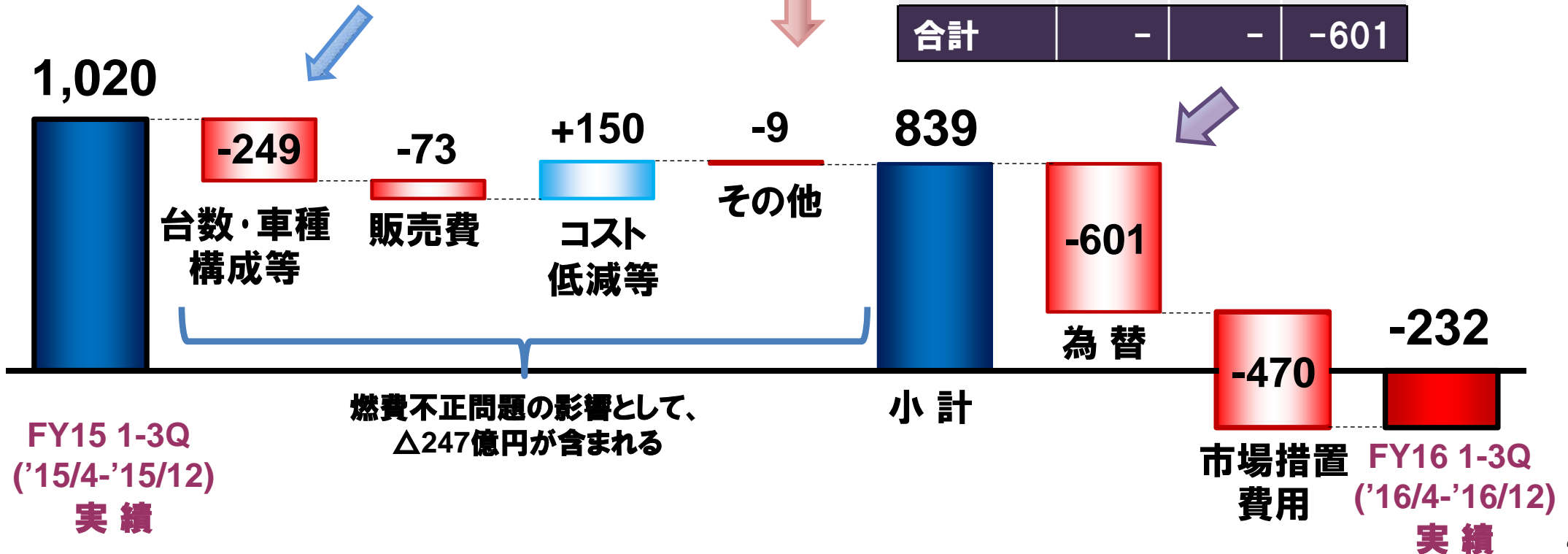


(単位：億円)

台数・車種構成等 地域別内訳	
日本	-153
北米	19
欧州	37
アジア	-105
その他 (中東、中南米中心)	-47
合計	-249

その他の内訳	
研究開発費	-47
間接員労務費等	38
合計	-9

主要通貨別内訳	売上レート(円)		影響額 (億円)
	FY15 1-3Q	FY16 1-3Q	
米ドル	122	107	-188
ユーロ	134	118	-197
豪ドル	90	80	-127
タイバーツ	3.52	3.06	332
英ポンド	187	139	-150
その他	-	-	-271
合計	-	-	-601

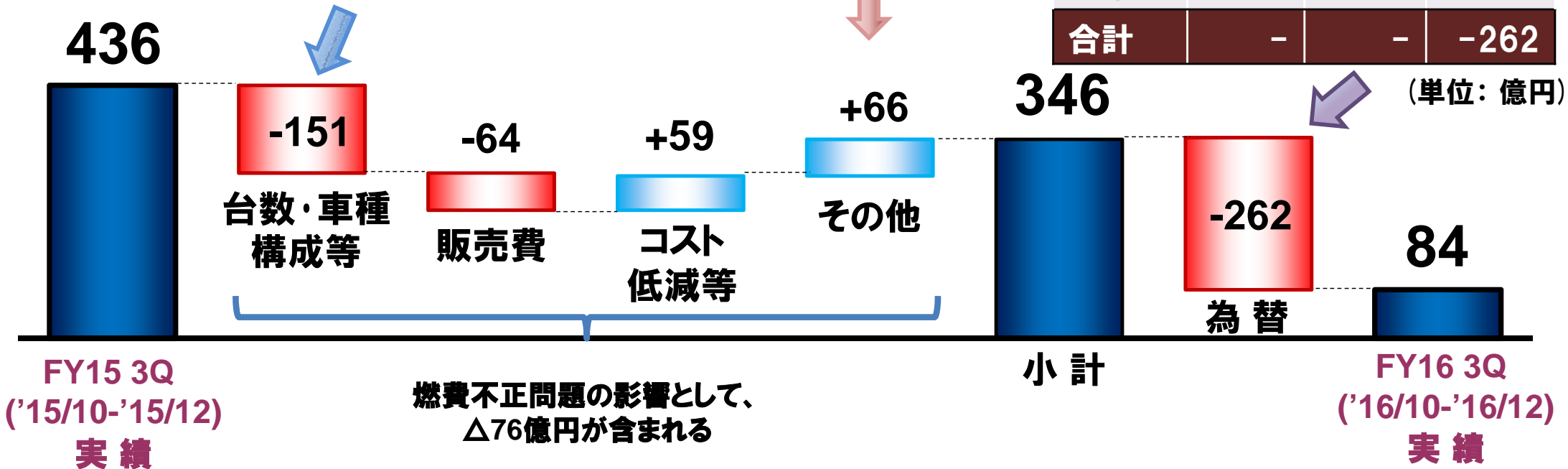


2016年度 3Q単独 営業利益 増減分析【前年同期対比】

台数・車種構成等 地域別内訳	
日本	-25
北米	-21
欧州	4
アジア	-76
その他 (中東中心)	-33
合計	-151

その他の内訳	
市場措置費用	57
その他	9
合計	66

主要通貨別内訳			
	売上レート(円)		影響額 (億円)
	15FY 3Q	16FY 3Q	
米ドル	121	107	-63
ユーロ	133	116	-73
豪ドル	86	80	-16
タイバーツ	3.41	3.12	64
英ポンド	184	133	-92
その他	-	-	-82
合計	-	-	-262



2016年度 第3四半期 BSサマリー

(単位: 億円)

	FY15 (16/3末) 実績	FY16 3Q (16/12末) 実績	増減
資産合計	14,337	15,562	+1,225
うち現金及び預金	4,534	6,491	+1,957
負債合計	7,483	8,668	+1,185
うち有利子負債	271	1,083	+812
純資産合計	6,854	6,894	+40
自己資本 (自己資本比率)	6,712 (46.8%)	6,766 (43.5%)	+54
ネットキャッシュ	4,263	5,408	+1,145

燃費不正問題における再発防止策進捗状況

○ 再発防止策全31項目の進捗状況 (2016年12月22日時点)



○ 対策立案済みの主な項目

- 開発プロセスの見直し
- 技術者向け法規教育の制度化
- 不正事案の開発部門全員への研修
- MAEとMMCの統合

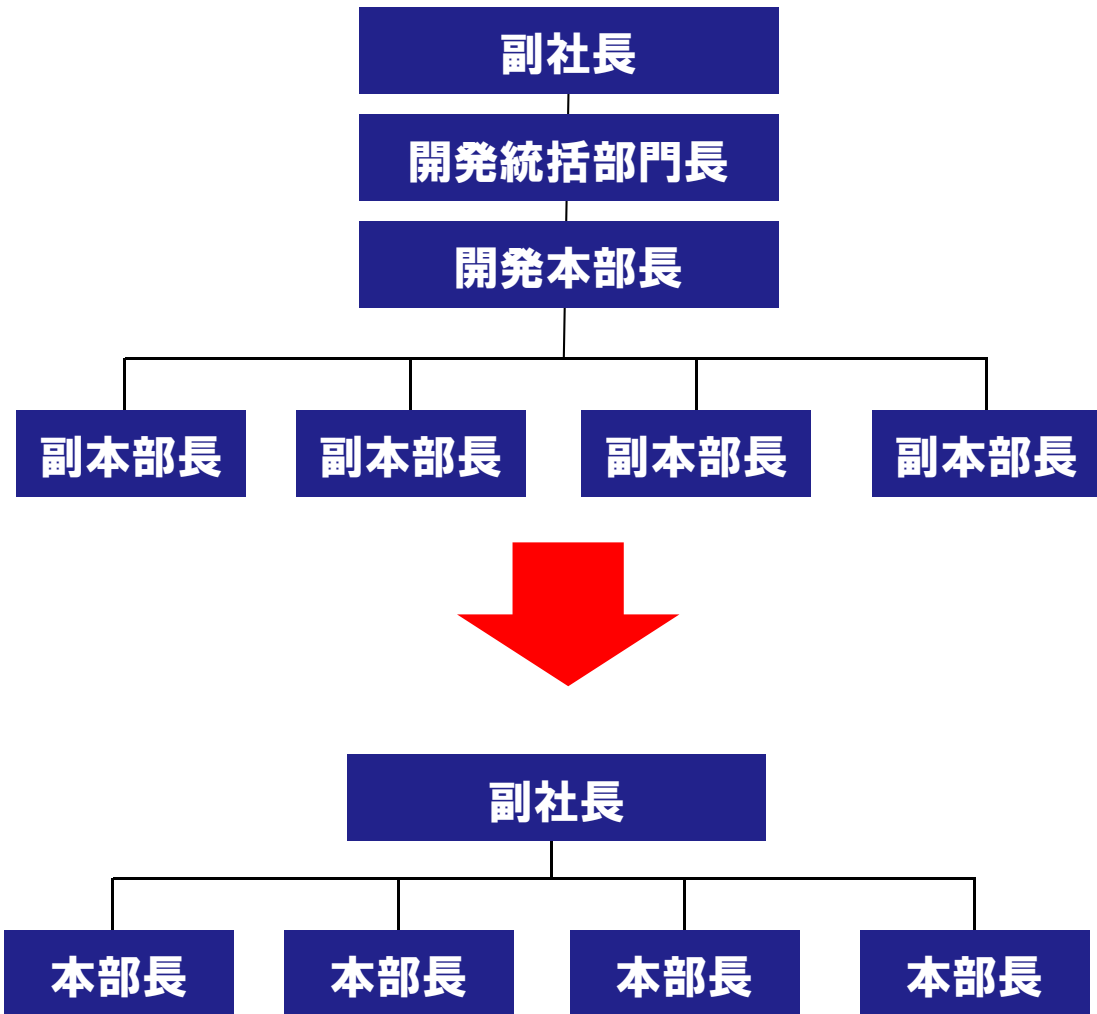
○ 対策を実施した主な項目

- **開発部門の組織改正(フラット化・PX体制見直し等)**
- 開発部門管理職のローテーション制度化
- 走行抵抗測定データ処理の自動測定システム化
- 開発工数見積制度の向上
- 重大発生時の危機管理マニュアル標準化
- 社員意識調査の制度化

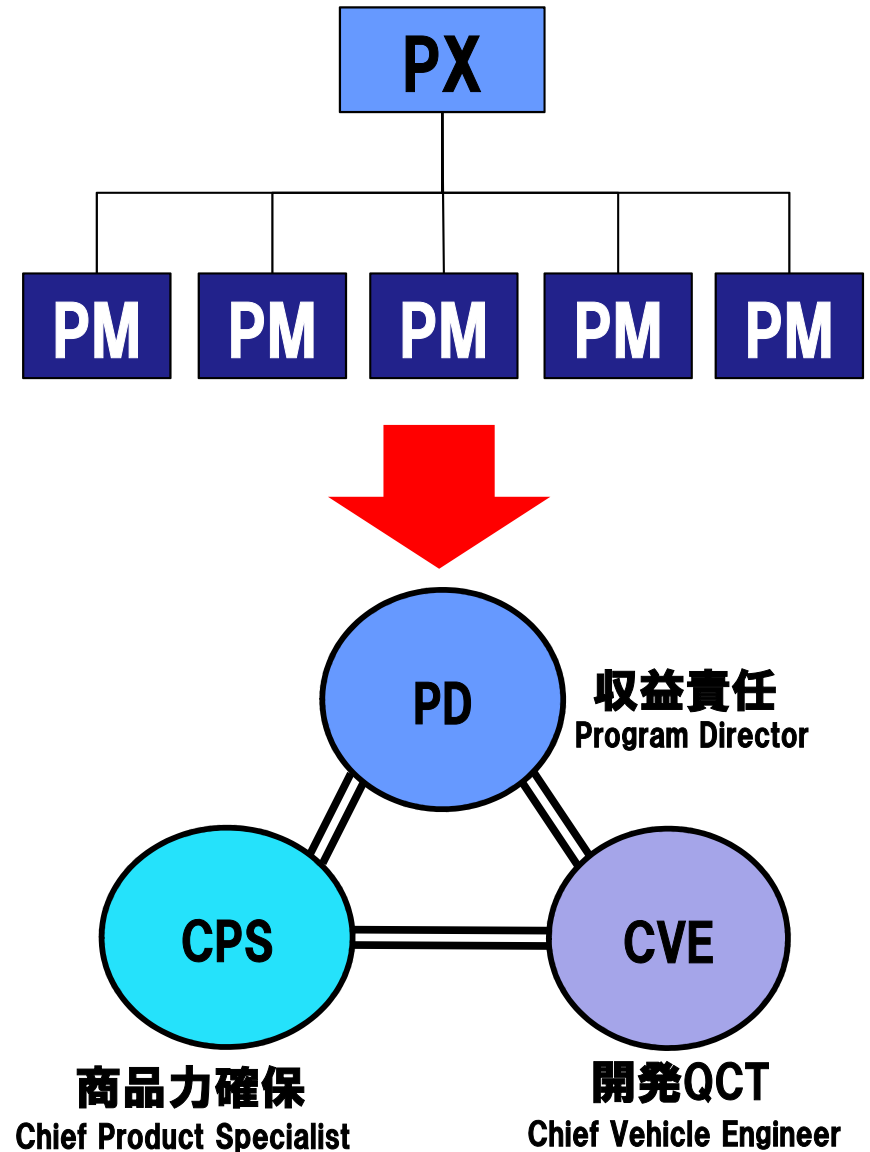
進捗状況について、今後も四半期ごとに国土交通省に報告

開発部門の組織改正(フラット化・PX体制見直し等)

<階層のフラット化>



<PX体制の見直し>



通期業績見通し



『MITSUBISHI GT-PHEV Concept』

2016年度通期業績サマリー【前回及び前年度対比】

～通期黒字化へ 堅実な回復軌道～

(単位：億円、千台)

	前回見通し (10月公表)		今回見通し (1月公表)		増減	前年度 実績	増減
	通期	下期	通期	下期			
売上高	18,400	9,751	18,900	10,251	+500	22,678	-3,778
営業利益 (利益率)	-276 (-1.5%)	40 (0.4%)	10 (0.1%)	326 (3.2%)	+286	1,384 (6.1%)	-1,374
経常利益 (利益率)	-282 (-1.5%)	0 (0.0%)	15 (0.1%)	297 (2.9%)	+297	1,410 (6.2%)	-1,395
当期純利益* (利益率)	-2,396 (-13.0%)	-200 (-2.1%)	-2,020 (-10.7%)	176 (1.7%)	+376	726 (3.2%)	-2,746
販売台数 (小売台数)	933	497	921	485	-12	1,048	-127

*親会社株主に帰属する当期純利益

2016年度 下期 営業利益見通し増減分析【前回公表対比】

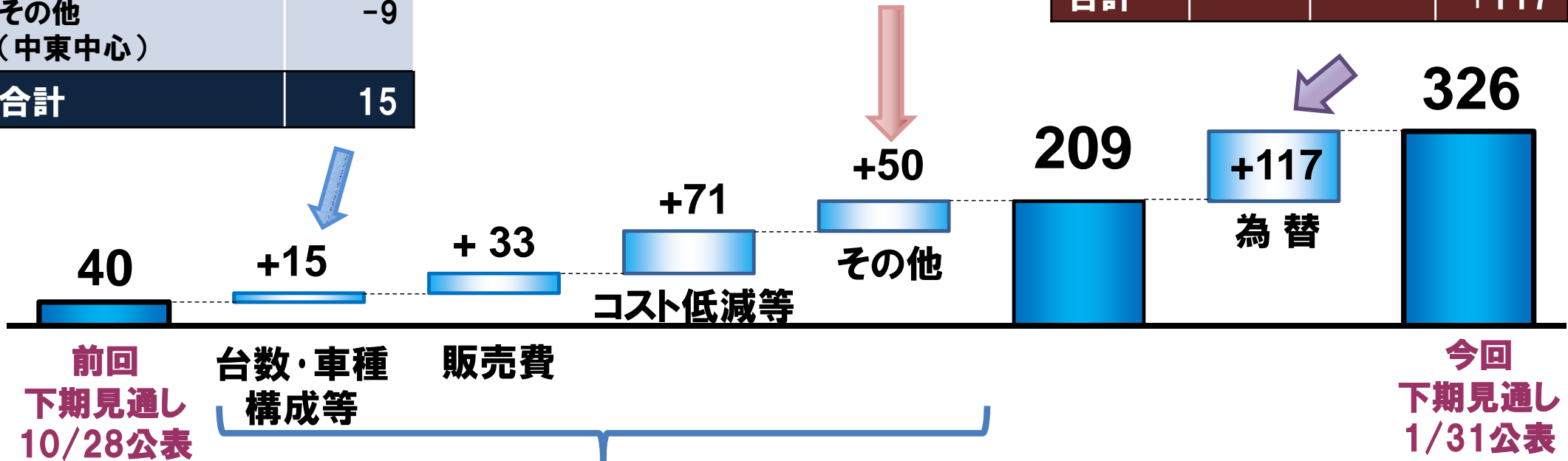
(単位：億円)

～通期黒字化へ 堅実な回復軌道～

台数・車種構成等 地域別内訳	
日本	31
北米	-6
欧州	10
アジア	-11
その他 (中東中心)	-9
合計	15

その他の内訳	
研究開発費	19
一般経費等	31
合計	+50

主要通貨別内訳			
	下期売上レート(円)		影響額 (億円)
	前回	今回	
米ドル	100	109	84
ユーロ	111	117	40
豪ドル	77	81	29
タイバーツ	2.90	3.15	-129
英ポンド	125	134	24
その他	-	-	69
合計	-	-	+117



為替を除く改善:169億円

～通期黒字化へ 堅実な回復軌道～

為替を除く改善: 169億円

⇒**経営効率の改善**(採算視点の経営強化)

<具体的な改善事例>

■ 社内資源の有効活用

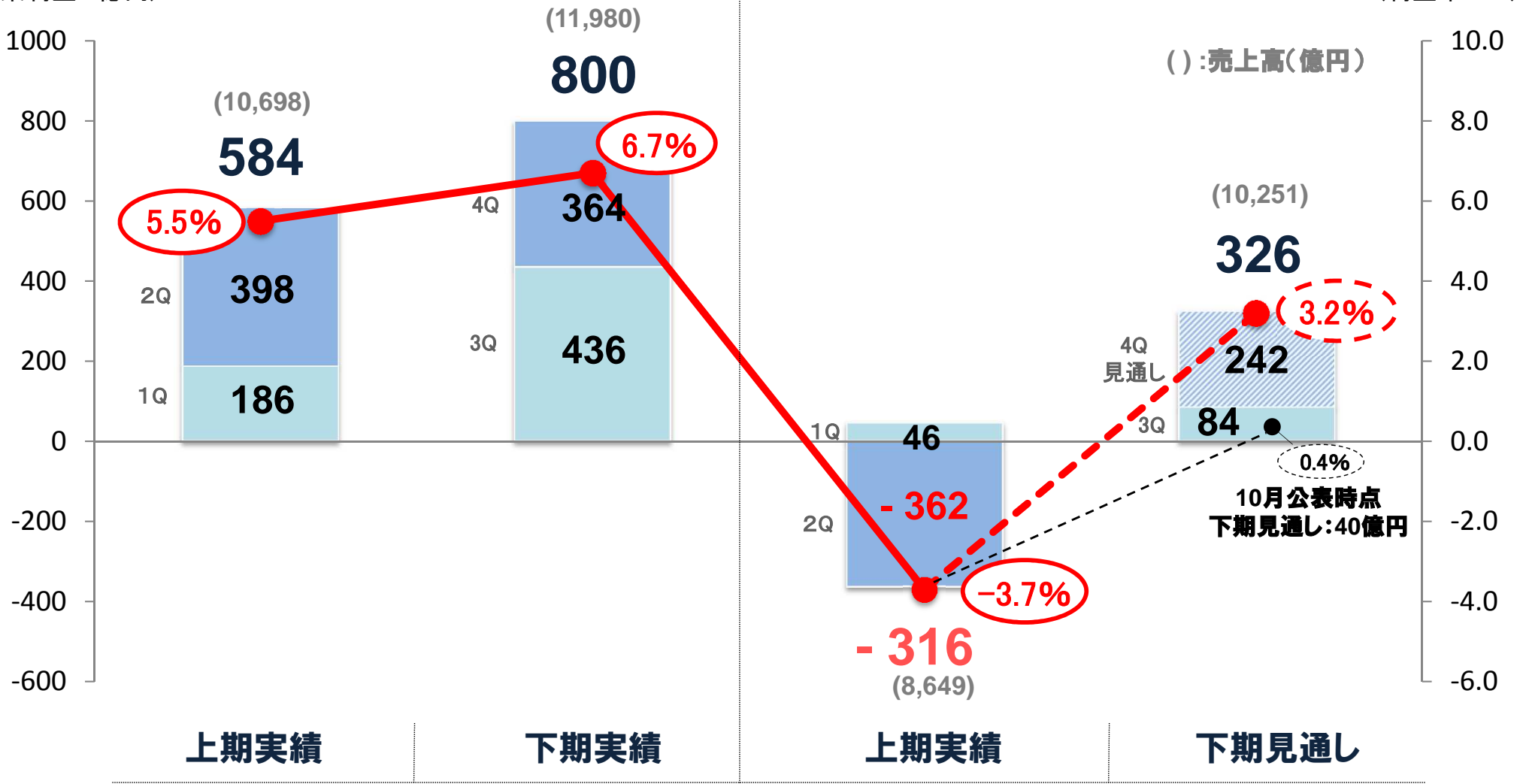
- ✓ 投資: コストとのバランスを意識した着実な成長投資
- ✓ 販売: 外部環境・競争状況の変化に即した対策の実施

採算性を軸にグローバルな観点から機動的に月次管理を徹底

～通期黒字化へ 堅実な回復軌道～

(営業利益: 億円)

(利益率: %)

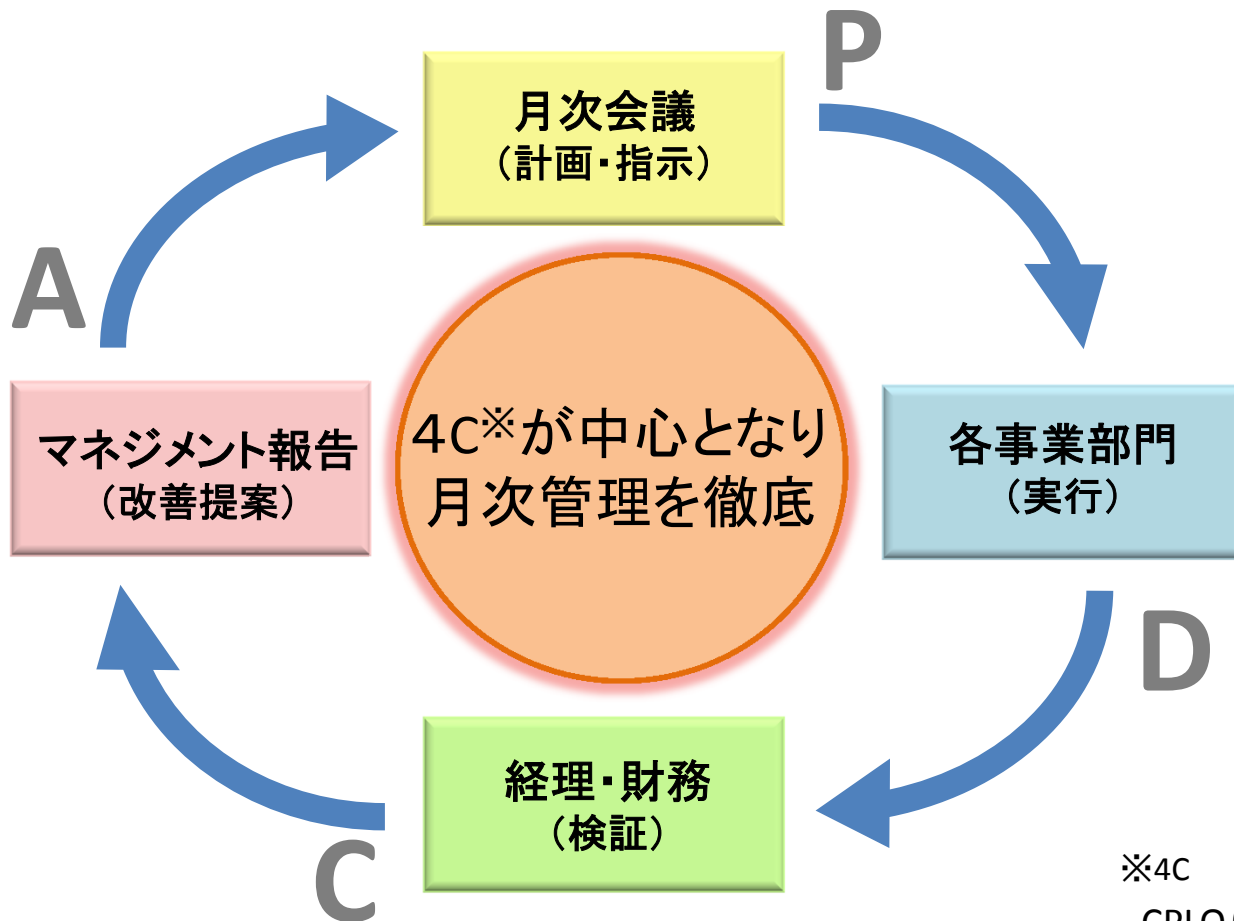


FY2015

FY2016

○ 損益管理におけるPDCAサイクルの徹底

3つの管理ポイントをフォローアップすることで、“立てた計画を完遂する”仕組み作り



損益管理におけるPDCAのイメージ

3つの管理ポイント (計数管理の強化)

- ① 実績の検証
(計画差異の要因分析・認識共有)
- ② 計画未達の場合の対策立案・協議
- ③ 将来のリスク&オポチュニティ把握

※4C

CPLO (Chief Planning Officer) : 商品戦略・商品開発
CCO (Chief Competitive Officer) : 購買・生産・物流
CPO (Chief Performance Officer) : 海外営業
CFO (Chief Financial Officer) : 財務・経理

○ タウンホールMTGによる社内コミュニケーション活性化



1月1日付組織改正による新経営体制の説明集会の様子

○ 山下副社長による課題改善活動

16年7月～ 商品・開発・品質部門

上級管理職チームで課題抽出・解決策検討

若手・中堅チームが
問題解決に参画

17年1月～ 全部門

全社レベルでの
改善活動へ



○ 総労働時間短縮に向けた取り組み

- ・『ノー残業デー(週1日)』
『プレミアムフライデー※』の設定

実施時期	17年2月24日(金) (以降、月末の金曜日)
取組内容	フレックスタイム活用により 15:00退社を全社員に推奨

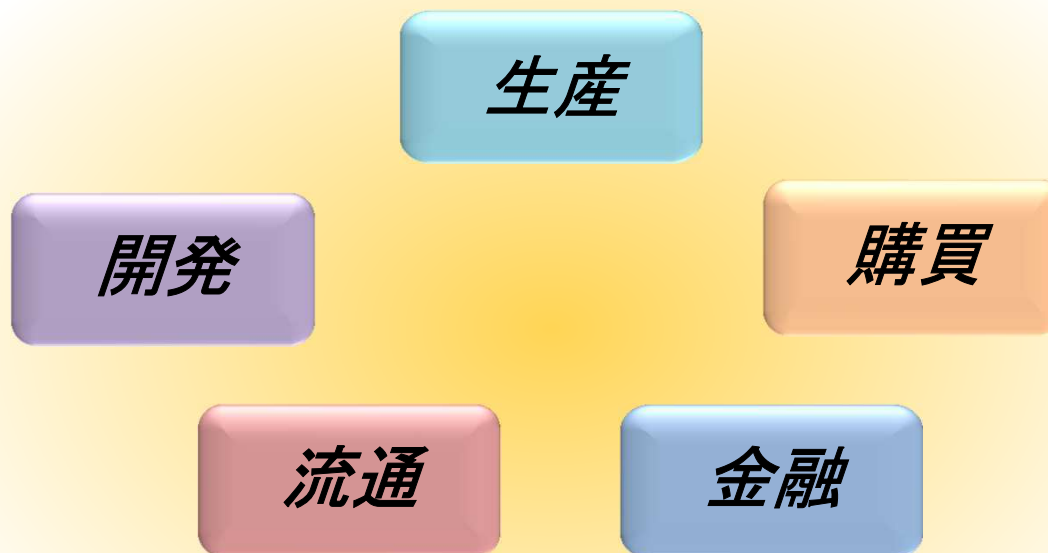
※16年12月 経済産業省が提唱

- ・有給休暇取得の徹底(年間17日)



○シナジー効果の幅広い分野での検討と更なる深堀り

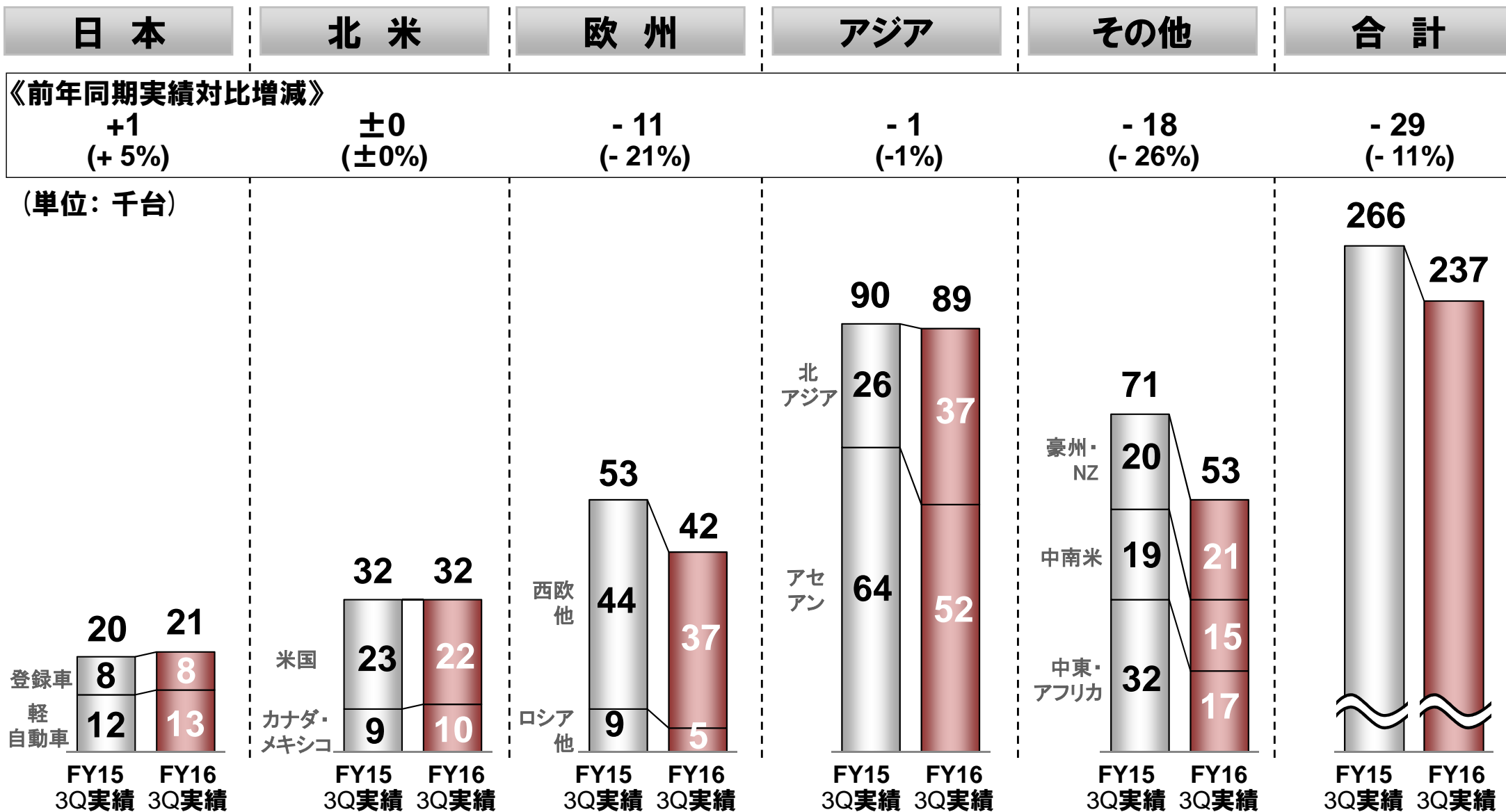
様々な領域で検討



Appendix

2016年度 第3四半期 (単独) 小売台数実績

【 3ヶ月累計、前年同期対比】



※注) 16年度第3四半期小売台数実績は速報値。

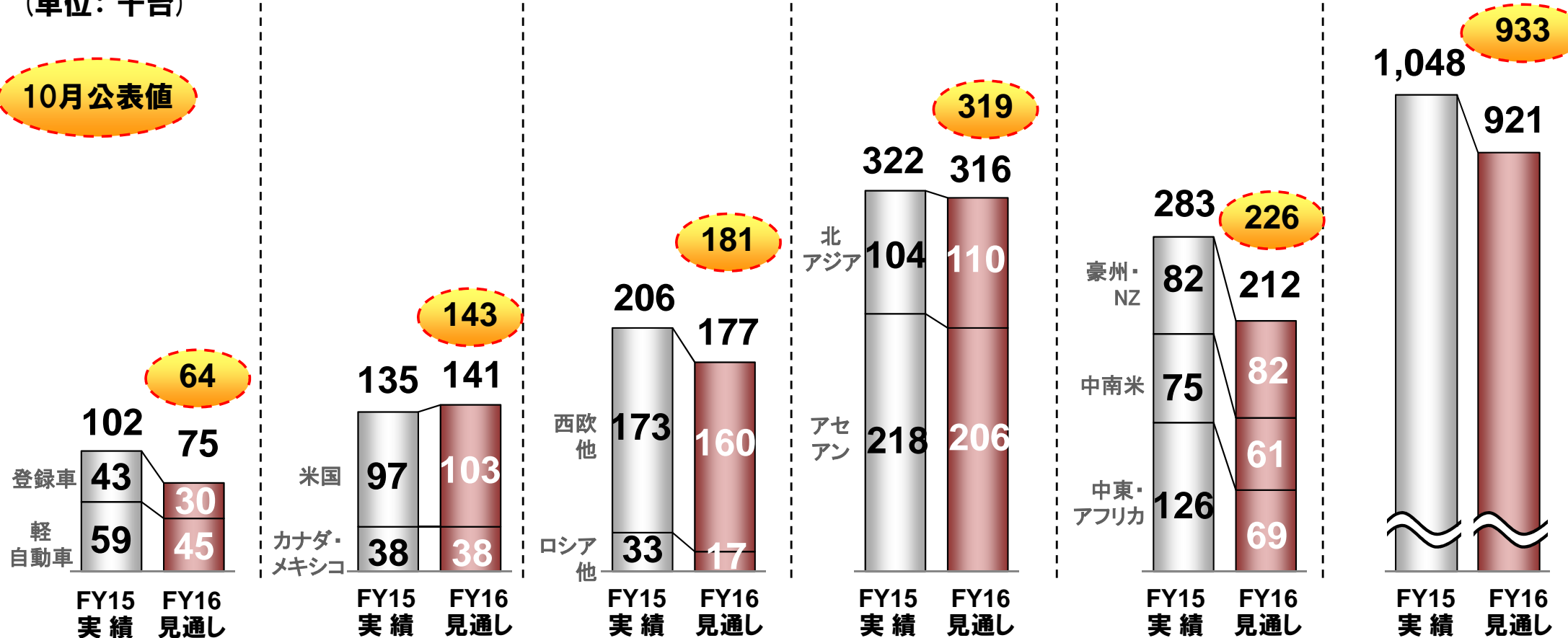
2016年度通期小売台数見通し【前年度対比】

日本	北米	欧州	アジア	その他	合計
----	----	----	-----	-----	----

《前年度実績対比増減》					
- 27 (- 26%)	+ 6 (+ 4%)	- 29 (- 14%)	- 6 (- 2%)	- 71 (- 25%)	- 127 (- 12%)

(単位: 千台)

10月公表値



2016年度 営業利益見通し増減分析【前年度対比】

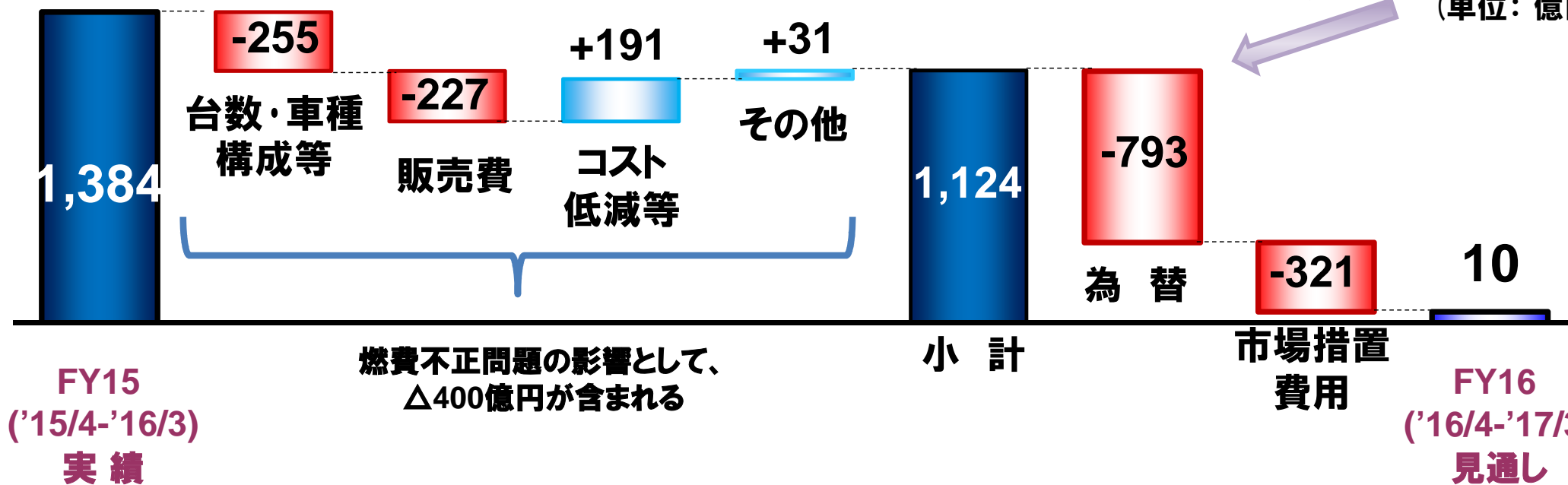
台数・車種構成等 地域別内訳	
日本	-170
北米	77
欧州	49
アジア	-103
その他 (中東、中南米中心)	-108
合計	-255

その他の内訳	
間接員労務費	33
その他	-2
合計	31

	売上レート(円)			年間 感応度 (億円)	影響額 (億円)
	FY15	FY16	FY16 4Q		
米ドル	121	109	110	25	-302
ユーロ	133	118	117	15	-231
豪ドル	88	81	81	18	-124
タイバーツ	3.44	3.09	3.16	103	359
英ポンド	182	139	135	5	-196
その他	-	-	-	-	-299
合計	-	-	-	-	-793

※タイバーツは0.1円で感応度を換算

(単位：億円)



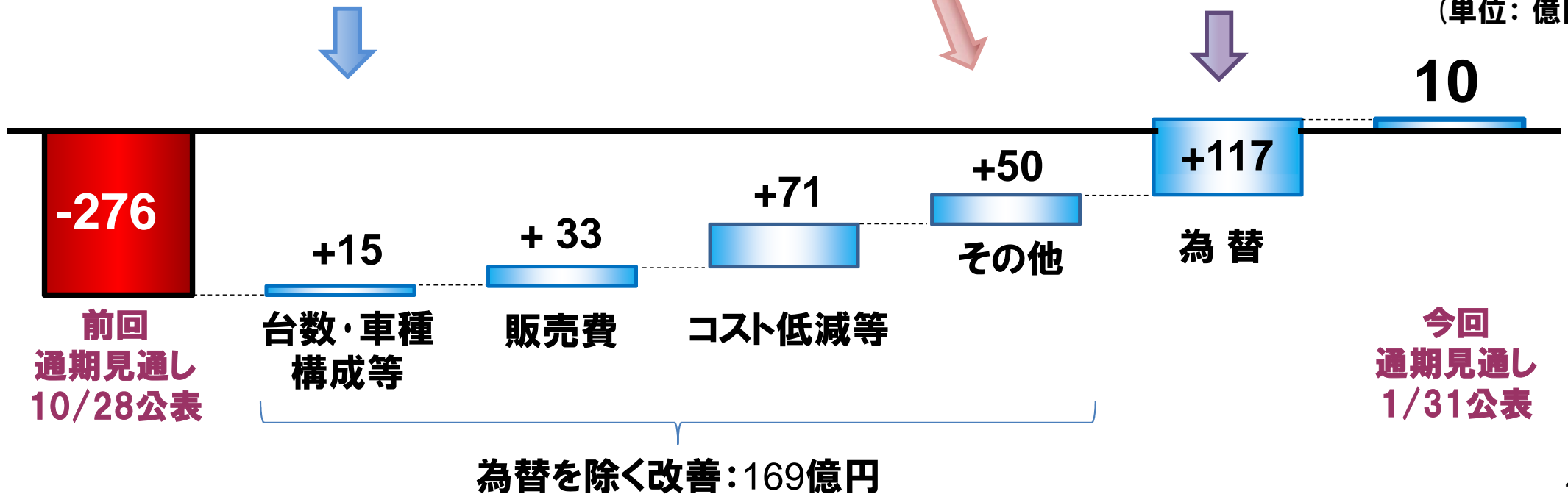
2016年度 通期 営業利益見通し増減分析【前回公表対比】

台数・車種構成等 地域別内訳	
日本	31
北米	-6
欧州	10
アジア	-11
その他 (中東中心)	-9
合計	15

その他の内訳	
研究開発費	19
一般経費等	31
合計	50

主要通貨別内訳			
	売上レート(円)		影響額 (億円)
	前回	今回	
米ドル	103	109	84
ユーロ	115	118	40
豪ドル	79	81	29
タイバーツ	2.99	3.09	-129
英ポンド	132	139	24
その他	-	-	69
合計	-	-	117

(単位: 億円)



燃費不正問題関連損失

(単位: 億円)

項目	3Q累計実績		今回 (1/31) 通期見通し	前回 (10/28) 通期見通し	差異 (前回-今回)
	上期実績	3Q実績			
営業利益への影響	- 171	- 76	- 247	- 400	± 0
特別損失	- 1,662	+ 65	- 1,597	- 1,597	+ 65
お客様へのお支払い	(- 567)	(- 15)	(- 582)	(- 582)	(- 15)
上記以外のお客様窓口関連	(- 164)	(- 4)	(- 168)	(- 168)	(- 4)
販売関連	(- 418)	(+ 10)	(- 408)	(- 408)	(+ 10)
生産・購買関連	(- 405)	(+ 71)	(- 334)	(- 334)	(+ 71)
その他	(- 108)	(+ 3)	(- 105)	(- 105)	(+ 3)
合計	- 1,833	- 11	- 1,844	- 1,997	+ 65

(単位：億円)

	FY15 3Q 実績 ('15/4-'15/12)	FY16 3Q 実績 ('16/4-'16/12)	増減
売上高	16,620	13,418	- 3,202
- 日本	2,839	1,885	- 954
- 北米	2,544	2,057	- 487
- 欧州	3,789	3,285	- 504
- アジア	3,439	3,054	- 385
- その他	4,009	3,137	- 872
営業利益	1,020	- 232	- 1,252
- 日本	- 6	- 244	- 238
- 北米	88	- 184	- 272
- 欧州	166	- 273	- 439
- アジア	522	332	- 190
- その他	250	137	- 113

(単位：億円)

	FY15 実績 ('15/4-'16/3)	FY16 1/31見通し ('16/4-'17/3)	増減
売上高	22,678	18,900	- 3,778
- 日本	4,129	3,100	- 1,029
- 北米	3,248	2,900	- 348
- 欧州	5,146	4,300	- 846
- アジア	4,826	4,200	- 626
- その他	5,329	4,400	- 929
営業利益	1,384	10	- 1,374
- 日本	-24	-330	- 306
- 北米	62	-130	- 192
- 欧州	221	-250	- 471
- アジア	749	460	- 289
- その他	376	260	- 116

(単位：億円)

	FY16 10/28見通し ('16/4-'17/3)	FY16 1/31見通し ('16/4-'17/3)	増減
売上高	18,400	18,900	+500
- 日本	2,900	3,100	+200
- 北米	2,800	2,900	+100
- 欧州	4,100	4,300	+200
- アジア	4,200	4,200	±0
- その他	4,400	4,400	±0
営業利益	- 276	10	+ 286
- 日本	- 390	-330	+60
- 北米	- 190	-130	+60
- 欧州	- 380	-250	+130
- アジア	460	460	±0
- その他	224	260	+36

設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位：億円)

	FY15 1-3Q ('15/4-'15/12) 実績	FY16 1-3Q ('16/4-'16/12) 実績	FY16 ('16/4-'17/3) 見通し
設備投資 (前年同期比)	466 (+4%)	332 (-29%)	610 (-12%)
減価償却費 (前年同期比)	399 (+3%)	347 (-13%)	490 (-9%)
研究開発費 (前年同期比)	575 (+6%)	622 (+8%)	911 (+16%)

	FY15(実績)					FY16(見通し)					差異				
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q*	計*	1Q	2Q	3Q	4Q	計
設備投資 (四半期別)	99	255	112	224	690	88	127	117	278	610	-11	-128	+5	+54	-80

*: FY16の4Qは見通し

本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご留意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

Drive@earth



MITSUBISHI MOTORS